



東京大学大学院理学系研究科・理学部

物理学教室 談話会

川人光男氏

(ATR 脳情報通信総合研究所)

「脳科学と物理学」

2018年2月19日(月) 午後5時00分～午後6時30分

東京大学本郷キャンパス理学部4号館2階 1220号室

ヒトの脳が物理化学的なシステムであるにもかかわらず、どのようにして意識を産み出すかは、科学に残された最大のミステリーの一つであろう。現在の人工知能ブームの源には脳科学、さらに言えば神経回路モデル deep neural networks がある。未来の人工知能も脳科学から産まれると期待される。今や社会にとって最大の重荷となった精神疾患の診断や治療にも脳科学と人工知能技術が役に立ち始めている。東大の物理学科を卒業した講演者は、ある意味、両極端に位置する2つの分野の距離が、過去40年で著しく縮まったように感じている。

計算論的神経科学、脳を創ることによって脳を知る、理論と実験の融合、精密・操作脳科学など、これまでの自身の研究の流れを通して、このような感想の裏付けを試みる。

※ 川人先生は本教室のご出身で、2017年度C&C賞を受賞されました。

※ 専門外、学生の方にもわかりやすくお話し頂く予定です。

※ 午後4時半過ぎから1220号室の前にお茶とお菓子を用意しています。
どうぞご利用下さい。